

令和7年度 グループホームあけぼの 地域連携推進会議議事録

1. 開催日時

令和7年12月4日（木） 14：00～15：30

2. 場所

グループホーム第一あけぼの（青森市新城平岡 955-11）

3. 参加者

- ①利用者代表
- ②家族の方
- ③地域の関係者
- ④法人 事務長
- ⑤法人 事務員

さん（グループホーム第二あけぼの）
さん（[REDACTED]さんの母）
さん（[REDACTED]町会長）

4. 議題

- ①グループホームあけぼのの概要
 - ・グループホームあけぼのの概要
 - ・近隣からの苦情等の共有
 - ・行事のご案内
- ②事業所やサービスの透明性・質の確保
 - ・利用者の日常生活の様子について
 - ・経営状況の報告
 - ・BCP（業務継続計画）の策定状況について
- ③利用者の権利擁護
 - ・虐待、事故、ヒヤリハットの報告
- ④グループホームの見学（第一・第二・第三・第五）

5、配布資料

- ①地域連携推進会議の手引き
- ②地域連携推進会議の手引き(別冊)資料編
- ③グループホームあけぼの 地域連携推進会議 資料

6、議事

- ①グループホームあけぼのの概要について →資料にて説明
 - ・グループホームあけぼのの利用者負担は、毎日暮らしている人で月 43,000 円程度。
これには、家賃・共益費(水道光熱費・燃料費・消耗品等一式)・食費(朝夕で 1 日 700 円)が含まれている。
 - ・近隣からの苦情として、過去に立ち小便について苦情が来た利用者がいる。

<グループホームあけぼのの概要について質疑>

- ・市役所の検査はあるか？
→3年に1回の頻度で運営指導及び指導監査がある。
- ・住んでいる人は青森の人？
→ほぼ青森市の人。
(町会長が近くの法人の事情を聞いており、そこでは東京からの利用者が多く利用している為、質問したとのこと)
- ・食費及び共益費が安いのでは？
→安いと感じる。現在の物価高騰においても値上げはしていない。年金と工賃だけで生活できるように設計している。しかし、現状では食材費・水道光熱費・燃料費・消耗品費も全て値上げされている為、後ほど説明する資金支出マイナスの一因となっている。

- ②事業所やサービスの透明性・質の確保について →資料にて説明

- ・経営状況の報告として、令和2年度～令和5年度まではプラスの資金収支だったが、令和6年度においてはマイナスとなっている。これは、利用者が減少したことと、先ほどの説明通り費用が増加していること等が理由となっている。

<事業所やサービスの透明性・質の確保について質疑>

- ・定員が割れている為、運営が大変ではないか？
→一応それまでにプラスだった分があるので、今すぐに問題があるということはないが、ご指摘の通り。
 - ・(法人側から)白旗野町会では、災害時はどこに避難することを想定しているか？
→西部市民センターか戸門小学校に避難する予定。公民館もあるが、土砂崩れの心配があるらしい。
(昔は西部市民センターが今の西部バスの終点だったらしい)
- ・法人の経営状況を聞く機会がなかなか無いので、勉強になった。

③利用者の権利擁護について →資料にて説明

- ・虐待防止チェックリストについての集計結果を説明

<利用者の権利擁護について質疑>

- ・特になし

④グループホームの見学について →資料にて説明

- ・玄関から始まり、風呂や許可のとれた利用者の方のお部屋等を見学。

<グループホームの見学について質疑>

- ・第一の玄関、廊下がとても広い。
→車椅子でも通れるように広く設計している。引き戸については下がひっかかるないように、上からの吊り下げ式になっている。
- ・グループホームがとてもきれい。
→第一等は建設してまだ10年も経っていないこともあるかもしれないが、市役所や防犯設備の業者にも褒めていただいたことがある。
- ・利用者の方によってドアや壁紙が違ってすごい。
- ・グループホームに初めて入ったが、これほど立派だと思わなかった。

7. 備考・その他

- ・市役所への声掛けが遅くなってしまい、今回は市役所の方が参加出来なかつたが、嬉しいのでまた来年お願いしますと言われた。
- ・悪い事をした施設のニュースが流れると、業界のイメージが悪くなる。地域連携推進会議が必要になったのも、一部の営利目的な法人が原因ではないかという話が出た。
- ・地域の関係者が、特に活発に質問等をしてくれた為、沢山の意見交換が出来て他の参加者からも良い会議になってよかったですと言われた。

以上